

< あなたの治療について >



血内-Rituximab 単独-q1w

今回の治療は、Rituximab 単独療法という治療法で、リツキシマブ (Rituximab) という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

治療全体の流れ

今回の化学療法は7日間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を7日(1週間)ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目
	アセトアミノフェン レスタミン (熱・アレルギーを抑える薬)	内服		お休み
	リツキシマブ (抗がん剤) 375mg/m ²	点滴 約25ml/時		

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

リツキシマブについて

白血球減少、好中球減少 発熱、悪寒 頭痛 ほてり そう痒

特徴的な副作用について

リツキシマブにおける

infusion reaction

「発熱、悪寒、悪心、頭痛、疼痛、そう痒、発疹、咳、虚脱感、血管浮腫」などの症状

* 血圧や脈拍などをモニターにて確認しながら点滴しますが、異常を感じた時はすぐに知らせてください。
また、発熱、悪寒、頭痛等を軽減させるために、本剤投与の 30 分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等を服用します。

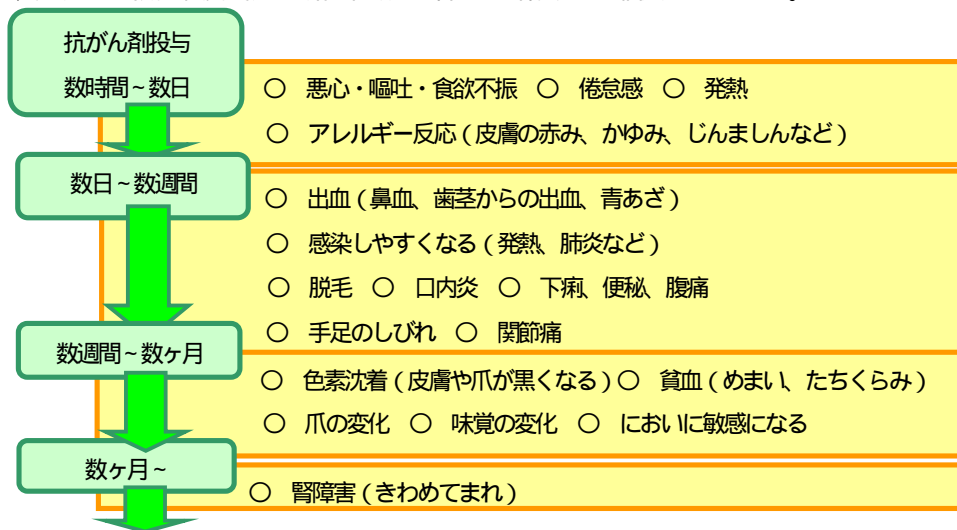
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

薬品毎の副作用について(添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋)

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【リツキシマブ】

<infusion reaction>発熱，悪寒，悪心，頭痛，疼痛，そう痒，発疹，咳，虚脱感，血管浮腫などの症状

<腫瘍崩壊症候群>尿が少なくなる，血尿，意識が薄れる，痙攣

<B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎，肝炎の増悪>白目や皮膚が黄色くなる；食欲不振・吐き気を伴った全身のひどい倦怠感；持続性の発熱

<肝機能障害，黄疸>発熱(38~39℃) ぶつぶつ様の発疹，食欲がなくなる，気分が悪くなる，下痢になる，しだいに強くなる全身のだるさ，皮膚や白目が黄色くなる，体がかゆい

<皮膚粘膜症状>発熱；関節が痛い；皮膚が斑に赤くなる，水腫れができる；くちびる，口内が荒れる；目が充血する

<汎血球減少，白血球減少，好中球減少，血小板減少>発熱，寒気がする，のどが痛む；口の中に白い斑点ができる；手足に赤い点(点状出血)または赤いあざ(紫斑)ができる，出血しやすい(歯ぐきの出血・鼻血など)；水のような下痢；口内炎；通常の生活をしていてだるさが続く，ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる，顔色が悪いといわれる

<間質性肺炎>息切れがする，息苦しくなる；から咳が出る，発熱

<心障害>動悸・息切れ，胸が痛い，足のむくみ

<腎障害>尿量の変化，手や足のむくみ

<消化管穿孔>胃のもたれ；食欲低下；胸やけ；吐き気，胃が痛い；空腹時にみぞおちが痛い，便が黒くなる

<血圧下降>

<脳神経症状>視覚障害，聴覚障害，感覚障害，顔面神経麻痺など

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。